

令和4年度 第1回 吹田市企画会議概要

日 時：令和4年（2022年）5月30日（月）午後2時15分～午後2時40分
場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室
出席者：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、今峰行政経営部長
所 管：【都市魅力部（シティプロモーション推進室）】
井田部長、橋本次長、薬師川室長、岡田参事

案 件	2025 大阪・関西万博に向けた取組について
担当及び関連部局	都市魅力部（シティプロモーション推進室）
【案件概要】 2025 大阪・関西万博の機会を捉え、日本国際博覧会協会及び大阪府市万博推進局が実施する取組に全庁的に協力しつつ、市内の魅力的な資源を活用した取組を検討・実施することについて、方向性及びスケジュールを確認するもの。	
【所管部の考え方】 2025大阪・関西万博（以下「万博」という。）を、本市の魅力発信の絶好の機会と捉え、1970万博が開催された本市ならではの取組を進めることで、シティプロモーションの強化につなげたい。 実施内容については、万博開催に向けた日本国際博覧会協会（以下「協会」という。）や大阪府市万博推進局（以下、「推進局」という。）の取組に全庁的に協力するとともに、万博を本市の施策や取組の啓発の手段として活用し、庁舎内のロビープロジェクター、市のホームページ及びSNS等で情報発信等を行う。また、万博開催年度までの間、1970万博が開催された本市ならではの取組として、太陽の塔や万博記念公園等を活用した企画等を検討していきたい。なお、予算執行を伴う取組については、実施計画の手続の中で検討するとともに、大阪府、万博記念公園の指定管理者及び市内各大学等の関係団体と連携・調整を図りつつ進めていく。	
【質疑概要】 質問： 万博に関して、本市と協会及び推進局との関係は。 回答： 万博の実施主体は協会である。推進局は、今年4月に「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン（Ver1.0）」を策定し、市に対して機運醸成の協力依頼を行っている。本市は、それに対して協力することになる。 質問： 本市が万博にどのような立場で関わっていくのか。現時点では推進局の依頼に対し協力をすれば良いとしか言えない。 回答： 機運醸成の取組に協力をしつつ、万博を活用し、本市の魅力発信の取組を進めていきたい。 意見： 1970万博が開催され、北大阪健康医療都市がある本市には、万博に彩を添えて価値を高めるだけの潜在力がある。協会や推進局と一緒に万博を成功させようとするのが本来の本市のスタンスと考えるが、現時点では、万博への本市の関わり方が不明瞭である。	

指示： 万博に関して、協会や推進局からの協力依頼に対しては協力すること。また、今後、協会や推進局から様々なリクエストを受けることを想定し、対応できる体制を整えておくこと。なお、市の取組の検討にあたっては、協会や推進局の動向を踏まえ、本市のシティプロモーションと万博の関係性を明らかにしたうえで進めていくこと。

【結果】

本案件の方向性については承認された。会議で出た意見、指示を整理し、取組を進めること。